報告とお礼

1.12「関電は約束を守れ！老朽３原発をただちに止めろ！」関電本店抗議行動に約 100 人

1.18「老朽原発・美浜美浜 3 号機うごかすな！」美浜現地緊急抗議行動に約 40 人

大地震は、何時、何処で、どの規模で発生するか予知できません
一刻も早く原発全廃を！

本年元日に発生した能登半島大地震は「今年こそ、原発、核施設を全廃せよ」と警告しているようにも思えます。

この大地震に伴って、志賀原発では、深刻なトラブルが発生していますが、岸田政権や関西電力（関電）は「原発依存社会への暴走」を改めようとはしません。

関電は、若狭でも震度４の強い地震動を観測し、原発停止を求める多くの声が上がったにも拘らず、これをことごとく無視して、高浜原発 3 号機、大飯原発 3、4 号機だけでなく、運転開始後 49 年、48 年を超えた老朽原発・高浜 1、2 号機まで、稼働を継続しました。また、定期点検中であった老朽原発・美浜 3 号機（運転開始後 47 年）を、予定通り、1 月 18 日に再稼働させました。安全第一を標榜するのであれば、稼働を止めて、詳細な点検を行うのが当然であり、責務です。

使用済み核燃料の行き場はありません
発生源・原発の即時全廃を！

その関電は「使用済み核燃料の中間貯蔵地を 2023 年末までに福井県外に探す。探せなければ、老朽原発を停止する」と約束していましたが、「保有する使用済み核燃料のわずか 5%のフランスへの搬出」や「上関での中間貯蔵地建設調査」などの小手先の奇策と詭弁を弄して、昨年末で、この約束を反古にしました。福井県知事も、これを容認しています。「原発の運転継続ありき」の出来レースです。何としても、関電と福井県に当初の約束を履行させ、全ての老朽原発を廃炉に追い込まなければなりません。

約束反古を繰り返し、大地震を目の当たりにしても原発稼働を続ける関電に抗議

1 月 12 日正午に、「老朽原発動かすな！実行委員会」の呼びかけに応えて、関電本店前（大阪市北区）に結集した約 100 人は、まず黙祷し、能登半島大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。

抗議集会は、「関電は約束を守れ！」「老朽 3 原発をただちに止めろ！」「地震も事故もまったなし！」「関電は原発うごかすな！」のシュプレヒコールで始まり、関西各地、福井から駆け付けた多くの皆さんの「関電の詭弁、奇策を弄した約束破り」を糾弾する発言が続きました。能登半島地震に関連して、福井からの参加者は、地震発生直後に関電に「稼働中の原発の即時停止」を申し入れたが、無視して原発を運転し続けた関電の無謀・不誠実を糾弾しました。また、「かつてこの大地震の震源地近くで建設が計画された珠洲原発が建設され、稼働中であったなら、志賀原発や柏崎・刈羽原発が稼働中であったなら、今回の地震で、原発大惨事に至った可能性があります。珠洲原発の建設を断念させ、志賀原発、柏崎・刈羽原発の再稼働を食い止めていたことが、原発過酷事故の再発を回避させたとも言えます」の発言は、多くの賛同を得ました。

能登で震度 7、若狭で震度 4 の大地震でも予定通り老朽原発・美浜 3 号機を再稼働した関電に抗議

1 月 18 日正午、「老朽原発動かすな！実行委員会」の緊急の呼びかけに応えて、雨にも負けず、「美浜原発 3 号機うごかすな！」の怒りに燃える約 40 人が、関西、福井、愛媛などから、美浜原発対岸の公園に結集しました。参加者は、デモ行進で美浜原発前に向かい、「地震があっても、老朽原発であっても、、使用済み核燃料の行き場はなくても、原発再稼働を強行する関電」の暴挙に抗議しました。後、美浜駅近くの関電原子力事業本部前に移動し、「老朽・美浜原発 3 号機の再稼働」に抗議の声を挙げました。各地からの参加者の熱いアピールを受け、関電への申し入れ（裏面参照）を行いました。集会後、町内を廻るデモ行進で　美浜町役場に到着し、美浜町長、町議会の「老朽原発再稼働容認」の撤回を求める抗議行動を展開しました。

なお、今回の美浜 3 号機の再稼働について、関電が再稼働期日を公式発表したのは前日・17 日の午後 3 時でした。再稼働の前日の期日発表は極めて異例で、原発の安全に関心を持つ多くの人々の心情を逆なでし、愚弄するものです。関電への申し入れでは、これにも強く抗議してます。

1.12 関電本店抗議行動、1.18 美浜現地緊急抗議行動ご支援、ご参加を頂きました皆さん、ありがとうございました。

2024 年 1 月 23 日　　老朽原発うごかすな！ 実行委員会
（連絡先； 090-1965-7102）

1.12「関電は約束を守れ！老朽３原発をただちに止めろ！」関電本店抗議行動

1.18「老朽原発・美浜 3 号機うごかすな！」美浜現地緊急抗議行動

美浜原発対岸からデモ出発

関電原子力事業本部前で抗議

美浜原発3号機
運転再開に抗議
市民団体

関西電力美浜原発3号機（美浜町）が再稼働し、運転再開するのに合わせ、市民団体「老朽原発うごかすな！実行委員会」は18日、同原発前や関電原子力事業本部前(同町)で抗議した。

「危険な原発は今すぐ廃炉」「人々の安全が優先だ」。強い雨が降る中、県内外から集まった約50人が声を上げた。参加者は「美浜3号うごかすな」と書かれた横断幕やのぼり旗を掲げた。

京都市から訪れた矢島哲夫さん(73)は「能登半島地震のような激甚災害が増えているのに、再稼働するのは考えられない」と話した。参加者は高浜原発1、2号機（高浜町）の停止や国内原発の廃炉も訴えながら、美浜町内をデモ行進した。（飯村健太）

関電原子力事業本部前で同3号機の再稼働に抗議する参加者＝美浜町郷市で

2024 年 1 月
19 日中日新聞

日刊県民福井
にも同様な
記事

美浜再稼働に抗議

運転47年「老朽原発うごかすな」

美浜原発近くでデモ行進に取り組む参加者ら＝18日、福井県美浜町

運転開始から47年以上たつ老朽化した関西電力美浜原発3号機（福井県美浜町）が18日に再稼働を強行されました。住民らは同社の美浜発電所や原子力事業本部の前などで緊急抗議行動を実施しました。

「老朽原発うごかすな！実行委員会」の主催でデモ行進し、「美浜原発の再稼働許さない」「老朽原発今すぐとめろ」と声を上げ、関電に申し入れを行いました。

能登半島地震で北陸電力志賀原発（石川県志賀町）は外部電源の一部喪失や変圧器トラブル、一部で想定を超える揺れの観測などがあり、周辺の18カ所のモニタリングポストも故障しました。しかし、関電は本震後も福井県内で原発4基を運転し続けており、今回さらに1基再稼働です。

実行委員会は「志賀原発、（東京電力）柏崎刈羽原発の再稼働を食い止めていたことが原発過酷事故の再発を回避させたとして世論と運動の意義を強調し、関電の今回の再稼働を「住民の安全など無視した暴挙だ」と厳しく批判しています。

美浜3号機をめぐって、住民らは運転禁止仮処分申し立てを福井地裁に行っています。3月に決定が出ます。

2024年1月19日　しんぶん赤旗

関西電力に申し入れ

申し入れ書

関西電力株式会社：取締役会長 榊原 定征 様、取締役社長 森望 様、原子力事業本部長 水田 仁 様、美浜発電所長 鶴 一隆 様

元日に発生した能登半島大地震の被害は甚大で、今も拡大しつつあります。

この能登半島大地震で、震度5弱の揺れを観測した志賀原発1、2号機では、燃料プールから水が溢れ、燃料プールに給水するポンプが一時停止しました。

また、外部の電力を供給する変圧器の配管から大量の油漏れが発生し、15日現在でも外部から電気を受ける系統の一部が使用不能になっています。油漏れは、当初、1号機で3600リットル、2号機で3500リットルと発表されましたが、後に、2号機では5倍超の合計1万9800リットルと修正されています。なお、今回、漏れた油の火災は発生していませんが、電源ケーブルのスパークで火災が発生すれば、電源喪失を招き、大惨事に至りかねません。原発が停止中で、ケーブルを流れる電流量が少なかったことが幸いしたと指摘されています。

新潟県長岡市でも震度6弱を記録し、近辺の柏崎・刈羽原発では、長周期振動の影響で、2、3、4、6、7号機の燃料プールから水が溢れ出したと報告されています。

能登半島大地震は、原発過酷事故時の避難の困難さも再認識させました。震源近くの珠洲市は、志賀原発から北東30 km圏内にありますが、同方面からの道路は寸断され、能登半島北部からの避難は困難を極めることが実証されました。輪島方面と金沢を結ぶ「のと里山海道」も寸断されました。さらに、避難誘導に欠かせない放射線測定のためのモニタリングポストの内、原発北側に設置されたものの多くが測定不能になっています。

ところで、この大地震の震源地近くでは、かつて珠洲原発の建設が計画されていました。珠洲原発が建設され、稼働中であったなら、また、志賀原発や柏崎・刈羽原発が稼働中であったなら、今回の地震で、原発大惨事に至った可能性があります。珠洲原発の建設を断念させ、志賀原発、柏崎・刈羽原発の再稼働を食い止めていたことが、原発過酷事故の再発を回避させたとも言えます。

このように、能登半島大地震に伴って、原発では、深刻なトラブルが発生していますが、岸田政権や貴関西電力（関電）は「原発依存社会への暴走」を改めようとはしません。

関電は、若狭でも震度4の強い地震動を観測し、原発停止を求める多くの声が上がったにも拘らず、これを尽（ことごと）く無視して、高浜原発3号機、大飯原発3、4号機だけでなく、運転開始後49年、48年を超えた老朽原発・高浜1、2号機まで、稼働を継続しています。また、定期点検中であった運転開始後47年の老朽原発・美浜3号機を、予定通り、本日再稼働させようとしています。安全第一を標榜するのであれば、稼働を止めて、詳細な点検を行うのが当然です。

その関電は「使用済み核燃料の中間貯蔵地を2023年末までに福井県外に探す。探せなければ、老朽原発を停止する」と約束していますが、約束履行の見通しが無くなり、切羽詰まって「保有する使用済み核燃料のわずか5%のフランスへの搬出」や「上関での中間貯蔵地建設調査」などの小手先の奇策と詭弁を弄して、昨年末で、約束を反古にしました。人々を愚弄するものです。

一方、使用済み核燃料の行き場に関して、福井県から説明を求められた関電は、昨年10月10日、「使用済み核燃料対策ロードマップ」を発表しました。このロードマップで、関電は、青森県の再処理工場の活用、中間貯蔵施設の確保を盛り込み、いかにも近々使用済み核燃料の福井県外搬出が可能であるかのように見せかけています。しかし、いずれも実現の可能性はありません。「絵に描いた餅」です。

それでも、関電は「使用済み核燃料搬出の円滑化のために、原発構内に乾式貯蔵施設の設置を検討する」とし、福井県内での乾式貯蔵に向けての布石を打ちました。

ところで、原発運転で発生する使用済み核燃料の放射線量や発熱量は、取り出し直後には膨大ですから、一定期間、燃料プールで水冷保管しなければなりません。したがって、燃料プールが満杯になれば、原発は運転できなくなります。今回の関電の布石は、燃料プールが3～7年後に満杯になって、原発を停止せざるを得なくなるため、プールに空きを作ろうとするものです。福井県知事は、わずか3日後の13日、これを容認しています。「原発の運転継続ありき」の出来レースです。

その燃料プールは極めて脆弱です。とくに、新しい使用済み核燃料の入った燃料プールが崩壊すれば、大惨事に至ります。このことは、福島原発事故後、4号機のプールが冷却水を失って、火災に至り、放射性物質が放出されて、首都圏まで壊滅的被害をこうむる危機にあったため、被曝覚悟で燃料を取り出して、危機を回避した事実からも明らかです。

今、電気は足りています。電力がひっ迫するのは、1年のうちの数日です。それも1日の中の数時間です。このような一時的な電力ひっ迫は、節電によって乗り切れます。したがって、過酷事故の危険性が高く、放射線被ばくを強い、子々孫々にまで負の遺産・使用済み核燃料を残す原発を稼働させる必要は全くありません。

そもそも、岸田政権や関電の「原発依存社会」への暴走は、福島原発事故以降の政権や電力会社が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結末です。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。先見の明がある政権や電力会社であったなら、原発に費やされた膨大な税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。

以上のような視点に立つ私たちは、貴関電も、ドイツ、台湾と同様に一刻も早く原発と決別し、自然エネルギーの活用で世界をリードする電力会社へと脱皮されることを期待し、以下を申し入れます。

【1】貴関電は、詭弁や奇策を弄するのではなく、危険極まりなく、行き場もない使用済み核燃料を発生させる原発からの撤退を決断して下さい。とりわけ、中間貯蔵地を見出す見通しがなくなった今、当初の約束通り老朽原発・高浜1、2号機、美浜3号機の停止を実行してください。また、近々運転開始後40年の老朽原発となる高浜3、4号機の稼働を断念し、これらの原発の即時廃炉を決定して下さい。

【2】原発を動かせば、行き場がなく、子々孫々にまで負の遺産となる使用済み核燃料が増加します。貴関電の有する全ての原発を停止し、既存の使用済み核燃料の処理、処分、保管に関して真剣かつ広範な議論を開始してください。

【3】一刻も早く原発と決別し、核燃料、化石燃料を使わない発電に転換してください。公益事業体として、環境の保全と人類の明るい未来のために、自然エネルギーによる発電法、大容量蓄電法、省エネ技術などの開発と普及に努めてください。

なお、今回の美浜3号機の再稼働について、関電が再稼働期日を公式発表したのは昨日でした。再稼働の前日の期日発表は極めて異例で、原発の安全に関心を持つ多くの人々の心情を逆なでし、愚弄するものです。強く抗議します。

最後に、貴職らが、圧倒的な「老朽原発うごかすな！」「使用済み核燃料の行き場はない！」の民意を蹂躙して原発を稼働させ続け、重大事故が起こった場合、それは貴職らの故意による犯罪であり、許されるものではないことを申し添えます。

2024年1月18日

「美浜原発3号機の再稼働に抗議する！」美浜緊急行動参加者一同

（連絡先；木原壮林：090-1965-7102）